

いのちを後回しにしない政治をいま、沖縄から。

# みおのクローン便り



第6号2015年10月2日

仲村 未央  
沖縄県議会議員

幸せを呼ぶというクローンのように 多様に 多彩に しなやかに

## 基地は人権と自治の問題

辺野古の物々しい朝。午前7時、強制排除開始。すごい数の機動隊＝写真上＝と、座り込みを続ける市民＝写真下。



「基地は最大の人権問題」と、翁長知事は9月、国連ジュネーブで日米両政府の不正義を正面から指摘し、国際社会に告発した。

日本政府は「人権問題になじまない」とすぐさま反論。戦後70年も基地を押し付け、人権、自治を奪い、いのちを脅かしておいて、まだその自覚もないのか。



この日の報道によると、政府は、稲嶺名護市長が就任以来、止めていた米軍基地再編交付金を、市を介さずに、久辺3区に直接交付する方針という。

基地容認を示せば交付金、拒否すれば徹底無視という、もはや地域振興の精神とは相容れない制度を創設し、財政基盤の弱い自治体を手なづけ、いじめ抜き、選挙のたびにカネをばらまくアメとムチの手法を、またも繰り返す。みっともない国。

これがまさに自治侵害、自治への不当な介入であり、翁長知事が指摘する通りだ。しかし、県民はもはや分断されない。だまされない。屈しない。

暴力的強行採決によって安保法案を通し、強制排除によって座り込みやデモをけちらかしても、決して民意はくじけないことを、いまこそ、主権者として一人ひとりが証明するときだ。

いよいよ承認取り消し。がんばろう。

## 追伸

◆「誇りある選択」を有権者に誓い、就任から10カ月。続いた緊張の日々を経て、翁長知事が9月14日、埋立承認「取消し」を表明しました。希望の未来を拓く、歴史的決断。いっそうすがすがしい表情の中にゆるぎない決意が見えました＝写真は同日県庁で、与党議員団への伝達の場面。



◆QAB でお馴染み、「熱血！釣師塾」山城淳塾長の出版祝賀会にて。いつも元気な山城さんと、沖縄県物産公社社長の島袋芳敬さんと一緒に。



憲法、自治、米軍基地問題、こどもの貧困、労働者の権利などのテーマで講演や勉強会も行っています。ご意見、お問合せがありましたら、どうぞご連絡ください。

電話：098-989-1638(みお事務所)、098-866-2702(沖縄県議会議会派室)

Eメール：go@miomio.ne.jp

住所：〒904-0011 沖縄市照屋 1-7-19(なかむらみお後援会事務所)

